

令和7年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書(前期・年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成 ～夢をもち、やさしく、まじめに、せいっぱいがんばる子～

B 本年度の重点

挑戦 ―ステップアップ!今より成長した自分を目指して―

～ たけのこの里で ぐんぐん伸びる たけのこ子 T・T・S(つながり 確かめ シンカする)で確かな学力を ～

- 夢を育てるふるさとキャリア教育の推進
- 夢を支える豊かな心の育成

- 夢の実現に向かう確かな学力の向上
- 夢を支えるたくましい体の育成

C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、一歩前へ踏み出し、積極的に学習や活動を行う学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの人権を尊重し、学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし、力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

夢をもち、
やさしく、まじめに、
せいっぱいがんばる子

目指す児童像

- 夢をもち
 - ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
- やさしく
 - ・自他を大切にし、思いやりの心をもった児童
- まじめにせいっぱい
 - ・自分の役割を果たし、基礎・基本となる学力を身に付けた児童

目指す学校像

- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・児童が生き生きと楽しく学べる学校
- ・地域と連携、協働し、地域に開かれた学校

目指す教師像

- ・子ども一人一人を尊重し、温かく支える教師
- ・生徒指導の機能(自己存在感、共感的人間関係、自己決定)を生かし、子どもを育てる教師
- ・授業力向上と研修に励む教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師

経営の重点事項と具体的な取組

1 ふるさとキャリア教育の充実	2 確かな学力の向上	3 豊かな心の育成	4 たくましい体の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ひと・こと・もの」を活用した多様な体験活動の推進 (たけのこプロジェクト～栽培活動・たけのこ和紙作り・ふるさとを歩こうデー等～) ・地域の特色や伝統文化等を学ぶ探究活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣と基礎的、基本的な学力の定着 ・主体的に学び高め合う学習指導(やませっ子学びのスタイル)、「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の充実 ・自分の考えを根拠をもとに話せる児童 ・UDの視点を取り入れた個に応じた指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な挨拶と返事や整理整頓、時間を守る等の基本的な生活習慣の定着 ・議論することを通して道徳性を育む道徳科の充実 ・思いやりの心や豊かな心を育む特別活動、読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果を生かした効果的な体力づくりの推進 ・運動の楽しさを味わい、基本的な知識や技能を身に付ける体育学習の充実 ・望ましい生活習慣を確立する食育、保健教育の推進
学習規律の徹底と生徒指導の機能を高めた学級経営が基盤			

かいなを組み、OJTを通して学び合い、同僚性を高める「チームやませ」

学校間・家庭・地域との連携

- OPTA活動
- 地域学校協働活動
- ◎学校運営協議会
- 田代中学校区小・中連携研究会
- たしろ保育園との連携
- 福祉教育推進事業

ふるさとに学ぶ

11月9日(日)
【田代地区文化祭
代野音楽クラブ発表】

田代地区文化祭



挑戦
―ステップアップ!―

11月9日(日)
【やませっ子マート
6年生が販売】



令和7年度学校評価一覧(年度)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てるふるさとキャリア教育の充実	挑戦一ステップアップ!今より成長した自分を目指してー ~たけのこの里でぐんぐん伸びる たけのっ子 T・T・Sで確かな学力を~ つながり たしかめ シンカする	評価区分(達成度) きわめて良好(100%以上) 良好(80%以上達成) おおむね良好(60%以上) やや不十分(80%未満) 努力を要する(40%未満)
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上		
	◇夢を支える豊かな心の育成		
	◇夢を支えるたくましい体の育成		

大人間の基礎力・大館市民教育(未来・大館市民の実践力の育成)	評価項目		自己評価A	運営協議会評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会と学年ごとの「あいさつ運動」、小中連携「あいさつ運動」 「地域の人へのあいさつ運動」の実施 運営委員会「廊下歩行運動」の実施 「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の呼び掛けと実施 	3
II 思いやりの心 たくましい心	自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨しながら安心して学校生活を送り、豊かな人間性を育てようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	3 思いやりの心の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) 「たけのこプロジェクト」(農園収穫・販売活動、和紙づくり等)による目標に向かう力を育む取組 	4	
					(3) 自他を大切に、温かな思いやりの心を育む活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 道徳科の充実 授業での振り返りの実施 互いを認め合う学級づくり 帰りの会での「今日の○○さん」の紹介 	4	
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	良好	良好	4 健康と体力の向上	(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年(学年)交流 比内支援学校との居住他校交流(3年) 「思いやりの木」運動、掲示 	4	
					(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携した読書活動の充実(うち読秋田県一周) 昼読書の工夫(図書室の活用) 読み聞かせ活動やおはなし会の充実 必読図書の推進 	3	
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	5 確かな学力の育成	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みの体力づくり(マラソンタイム、鉄棒ギネス、ボールギネス) 体育の授業の充実 体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施 	4	
					(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する啓発活動(給食だより、昼の放送、食育授業) メディアコントロール週間の実施 健康花丸チェック 手洗い教室(ブラックライト体験) 	4	
V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(8) 基本的学習習慣の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度や話型の指導 学習環境の整備 家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会、家庭学習強調週間の実施) 	4	
					(9) 基礎・基本的な学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、新聞ワークシート、ミニテスト等) 個に応じた指導の工夫(TT)・パワーアップタイムの実施 辞書引きコンクール 	3	
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(10) 共感的・協働的に学び合う学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> やませっ子学びのスタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 授業での学び合い、話し合いの場(たけのっ子タイム)の設定と充実 学習リーダーの育成 	4	
					(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 集団登校・下校指導 避難訓練(地震・火災)の実施、防災教室 生徒指導部だより「すこやか通信」の発行 地区児童会(危険箇所の確認等) 	4	
					(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 危険箇所確認及び看板設置 街頭指導 クマ対応保護者迎いの依頼、協力 緊急メール配信 	4	
					(13) 定期的で効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 各便り(学校報、学年通信、保健便り、給食便り等)の発行、HP、ブログ 行事等におけるメール配信 	4	
					(14) 地域の「ひとこと・もの」を活用した豊かな教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園収穫活動、稲刈り、なめこ栽培、やませっ子マーケット、たけのこ紙作り、クラブ活動、校外学習、フルタプ・アルミ缶回収等) 	4	

ア
児童の
状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価日の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	良好	良好	校内ではあいさつがよくできているが、校外へ一歩踏み出した時のあいさつはどうか。一歩前進させてほしい。地域の人とコミュニケーションをとる機会に大切にして、言葉をつないで会話を成立させられる力を鍛えてほしい。児童に力をつけさせたいという思いをもち、教師が子どもに求める姿勢を大事にしてほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	クマ対策で集団登校ができなかったため、地域あいさつ運動やあいさつ指導がうまくできなかったことは残念である。子どもたちの意識を高めていきたい。ヒヤリング児童に将来の夢を尋ねると自分の思いを語ることができていた。夢をもつことができていない児童が多いことはよいことである。取組をさらに充実させてほしい。
と学校評価の価値観の概要	【前期(一年度)】(1)についてあいさつについては、児童や保護者、教員とも肯定的回答が9割程度である。落ち着いた校内生活については、児童と保護者の肯定的回答は9割に対して、教員は8割となっている。あいさつは、校内や集団では積極的に元気よく行っているが、個人や地域の人へは、児童の肯定的回答は9割程度であるが、保護者及び職員は8割であった。児童自身の自己管理能力を向上させるために機会あるごとにルール上の必要性やどうすべきかを考えるよう指導してきている。児童の規律ある落ち着いた生活のために根強い取組が必要である。(2)について児童と保護者の肯定的回答は9割、職員は10割であった。たけのこプロジェクトの推進にあたっては、たけのこ学習振り返りカードを教室前に掲示して活用してきている。事前の目標設定と事後の振り返りを通し、目標を達成することで達成感を得ている児童が多い。今年度の反省を踏まえて次年度の計画を立案していきたい。			
	【年度(一次年度)】(1)についてあいさつについては個人や地域の人へが課題だったため、地域の人へのあいさつ運動の取組を行った。ただ、クマ対策のため集団登校ができず、思うような成果が上げなかった。その分、校内や来校者へのあいさつを働き掛けた。ルールの遵守や規律の面では、児童の肯定的回答は9割程度であるが、保護者及び職員は8割であった。児童自身の自己管理能力を向上させるために機会あるごとにルール上の必要性やどうすべきかを考えるよう指導してきている。児童の規律ある落ち着いた生活のために根強い取組が必要である。(2)について児童と保護者の肯定的回答は9割、職員は10割であった。たけのこプロジェクトの推進にあたっては、たけのこ学習振り返りカードを教室前に掲示して活用してきている。事前の目標設定と事後の振り返りを通し、目標を達成することで達成感を得ている児童が多い。今年度の反省を踏まえて次年度の計画を立案していきたい。			

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中連携の各「あいさつ運動」、地域の人へのあいさつ運動 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の呼び掛けと実施	4	3
2 夢に向かって努力する資質・能力の育成	(2) つながりを含めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たけのこプロジェクト」(農園収穫・販売活動、和紙づくり等)による目標に向かう力を育む取組	4	4

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が最もよい) ★実践事項
 [1]に関するデータ ■□「子どもたちは、元気なあいさつができる。」 ◎「あなたは、元気なあいさつができましたか。」

- ★ 児童会によるあいさつ運動の実施
 - ・児童会と学年ごとのあいさつ運動(9月) ・にこハピ運動 10・11月
 - ★ 田代地区小中連携あいさつ運動 10月
 - ・中学生と一緒にあいさつ運動(次代を担う田代の子「笑顔で挨拶」)
 - ★ 地域の人へのあいさつ運動(カードを活用して) 9月～11月
 - あいさつチャンピオン 赤坂碧惟さん 五十嵐空翔さん 木村栄心さん
- ★ 運営委員会による廊下歩行強調週間の実施→安全で落ち着いた校内生活へ
- ★ 職員全体で児童への挨拶、廊下歩行等の言葉掛け

※2学期は1年生も元気よくあいさつ運動を実施



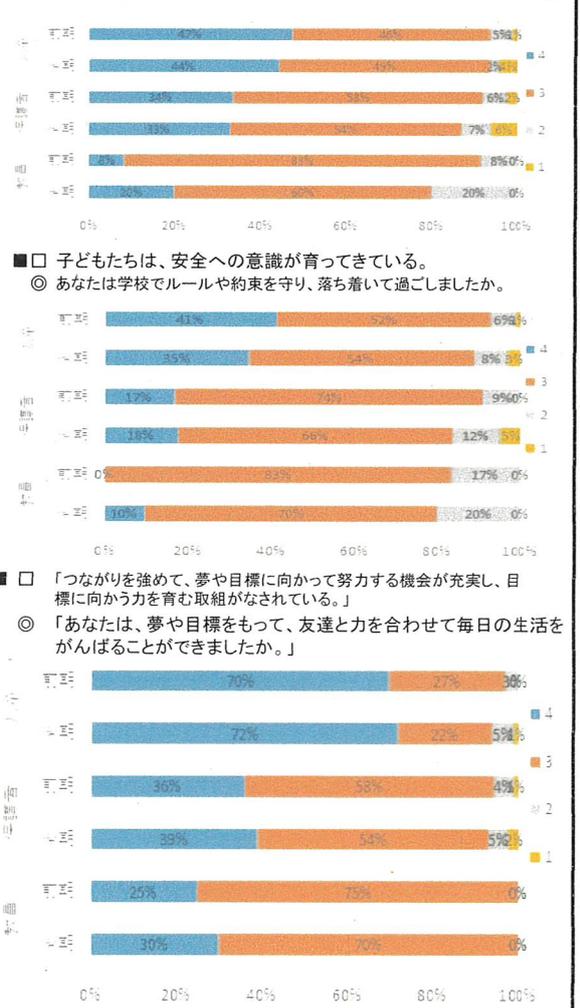
※3年生以上の有志による国道7号でのにこハピ運動



- [2]に関するデータ
- ★ 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)
 - 職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示
 - 行事や委員会・係活動等と関連させた取組
 - ・毎月の月目標設定(学団ごと)
 - ・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:係活動、やませっ子発表会、「10歳を祝う会」(4年生)、委員会活動等
 - 「たけのこプロジェクト」の推進
 - ・農園収穫活動、販売準備活動、やませっ子マート
 - ・たけのこ和紙作り(たけのこの皮煮、すり潰し、紙すき作業)



※4年生「10歳を祝う会」家族への感謝の気持ちや今後の目標、努力することなどを宣言しました。



ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心				
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨しながら安心して学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	思いやりの心を育てることは、学校教育目標にも掲げている重要な目標である。道徳科の授業はもちろん、様々な教育活動の中で子どもたちに思いやりの心を育んでいきたい。図書委員の主体的な活動をさらに継続することで児童の読書への関心を高めるとともに、豊かな心を醸成して欲しい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	読書については昨年度より数値が上昇している。日々の家庭学習とスポーツ活動、読書の時間の両立は非常に難しい。読書強調期間を決めて、その期間の家庭学習を軽減するなど、メリハリをつけた取組を工夫してほしい。期間を絞って行った方が、本にじっくりと浸らせることができる。
学校の評価改善の概要と	<p>【前期(一年度)】(3について)児童は9割超だが、保護者は8割、教員は7割となっている。日々の児童の観察を丁寧に行い、生徒指導的な対応が必要な場合は、学級担任だけでなくチームで対応するよう努めている。道徳の学習の充実とともに、心の授業等の発達支持的生徒指導を大事にしていきたい。(4について)様々な場面で異学年(学団)による活動を意図的に取り入れ、仲間との関わりの中で協力し合ったり助け合ったりすることができるようにしている。放送での花丸ニュースの紹介では、1年生も積極的に投稿している。(5について)読書については、秋田県一周カードの活用や新聞クイズなど、図書委員を主体的に活動させた取組、たしろドリームライブラリーの皆さんによる読み聞かせを行い、本に親しむ環境を整備している。2学期からも、読書集会など子どもたちの意識を高める活動を充実させていきたい。</p> <p>【年度(一学年度)】(3について)道徳科の指導を充実させ、道徳的価値について対話を通して学んだり、自己を振り返って今後どうしていくべきかを考えたりする機会を大事にしている。アンケートや対話を通して児童の状況把握に努め、必要に応じて教育相談を行っている。(4について)児童会主体の「思いやりの木運動」や「花丸ニュース」、清掃班長選定「おそうじがんばり賞」の活動は児童の笑顔が見られた。児童主体の取組を今後も大切にしていきたい。(5について)「読み聞かせ会」や「おはなし会」では様々な作品に触れることができ、「話してもらった本の他のシリーズも読んでみたい」など前向きな感想が多く聞かれた。図書委員の主体的な活動と読書への興味関心を広げる取組を今後も継続していきたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切に、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	3	4
	(4) つながりやを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流、比内支援学校との居住地校交流(2・6年)、思いやりの木運動	4	4
	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書書の推進・昼読書の工夫・読み聞かせ活動の充実	3	3

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【3に関するデータ】

★児童観察と教育相談

- ・いじめアンケート後の個人面談
- ・長期休業中の全保護者との個人面談、SC・CPの活用
- ★児童を語る会・校内支援委員会・いじめ不登校対策委員会
- ・児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携

★道徳科の充実

- ・物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置

★互いに認め合う学級づくり

- ・授業での「振り返り」の発表後の認め合い
- ・善行を認め合う、帰りの会での「今日の〇〇さん」の紹介

【4に関するデータ】

■ □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している。」

◎ 「あなたは友達と協力しながら係・委員会・当番活動や縦割り班活動に取り組むことができましたか。」

★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例

- 花丸ニュース ○縦割り班清掃活動 ○異学年(学団)交流
- 比内支援学校との居住地校交流(3年) ○フラワーアートプロジェクト
- 思いやりの木運動、掲示 ○大館市子どもサミットへの参加
- ペットボトルキャップ、アルミ缶の回収、車椅子贈呈式

【5に関するデータ】

★読書の奨励

- ・家庭と連携した読書活動の充実(うち読秋田県一周)・必読図書の推進・昼読書の工夫(図書室の活用等)
- ・読み聞かせ活動の充実(図書委員会・たしろドリームライブラリー・森山里望さん)

■ □ 「子どもたちは、本に親しんでいる。」 ◎ 「あなたは、進んで読書をすることができましたか。」

※森山里望さんによる「おはなし会」の実施(11月)



ア 児童の状況

III 健康と体力

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	良好	良好	PTAでは体育を参観する機会があった。保護者も巻き込んで子どもたちは生き生きと活動していた。運動が苦手な子どもたちも様々な運動に楽しんで取り組めるような手立てを工夫していった。歯磨き教室の取組が家庭生活にも生かされているのが、メディア使用と睡眠時間の関係など実態を把握して、取組をよりよく改善していった。
	年度	良好	良好	PTA研修会は栄養教諭による食育はよい企画だった。保護者と児童と一緒に学べ、内容も非常に分かりやすかった。体力テストの結果、課題であった学年の数値が上昇していた。児童の実態を捉えて体育指導や体力づくりを充実させてきた成果だと感じた。今後も取組を充実させてほしい。

学校の評価改善の概要と

【前期(一年度)】(6)について運動会やふるさとを歩こうデーに向けて、マラソントイムを実施した。運動会の持久走では、子どもたちは保護者や色別の応援を受けて一生懸命走ることができた。また、教育長杯ロープジャンプに2学年が参加し、長縄跳びにも取り組んだ。次年度に向けて熱中症予防対策として、マラソントイムの設定時期を調整していく予定である。(7)について全学年において栄養教諭による歯磨き教室を実施し、歯の健康や歯みがきの仕方について理解を深めることができた。保健委員による「健康花丸チェック」も実施した。昼の放送や食育掲示板を通して食の大切さや食習慣等について啓発することができた。2学期は、栄養教諭と連携した食育授業やメディアコントロール力を高める取組を工夫していった。

【年度(一学年度)】(6)について体育委員会が計画し、マラソントイムや鉄棒ギネス、ボールギネスを行い、運動が苦手な児童も様々な運動に楽しく取り組む機会を設定した。3学期はなわとびギネスを行う予定である。(7)について2学期は、栄養教諭と学級担任による食育授業を全学年で実施するとともに、PTA研修会で栄養教諭が講師を務め、保護者と高学年児童が学ぶ機会を設定することができた。食事が未来の体づくりに直結していることを学ぶことを通じて、児童と保護者の食への意識が高まった。また、山尾歯科医師を講師にした歯磨き教室、ブラックライトを活用した手洗い教室も実施することができた。冬休み中は、メディアコントロールデーを各自で決め、目標を自分で設定して取り組む活動を行った。メディアコントロールについては、児童主体のルール作りなど工夫した取組が必要だと考えている。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・昼休みの体力づくり(マラソントイム、鉄棒ギネス、ボールギネス等) ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	4
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動・歯磨き教室 ・手洗いの励行・健康花丸チェック	4	4

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【6に関するデータ】 ■「体力づくりや体育学習を充実させ、体力の向上に努めている」 □「子どもたちは、外遊びやスポーツに楽しみ、体力づくりに努めている」

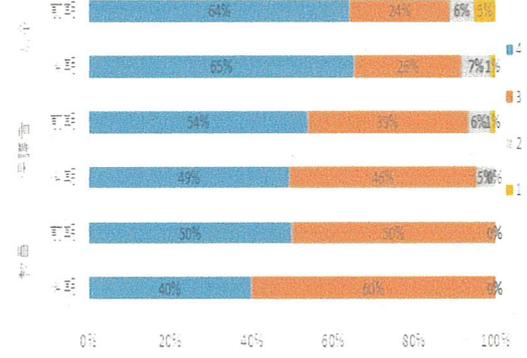
★ 体力づくりの取組 ◎「あなたは、体育の時間や休み時間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」

○マラソン運動、鉄棒ギネス、ボールギネス、なわとびギネス～昼休み実施

- ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
- ・強調月間の設定
- ・体力向上を目指した体育学習
- ・体育委員会による縦割り班遊び実施



※ボールギネス的当てやフリースロー、シャトル投げに挑戦する児童たち



R6新体力テスト結果	学年	小4	R7新体力テスト	学年	現小5
県平均を100と したときの指数	体力得点 男	84.4	県平均を100と したときの指数	体力得点 男	94.8
	体力得点 女	92.3		体力得点 女	94.9

※昨年度県平均を下回っていた現5年生のデータを見ると、体力づくりに加えて体育の学習で様々な運動に取り組んできた成果が数値としてあらわれてきている。

★ 新体力テスト

- 実施日 ・5月中旬～6月上旬
- 実施科目
- ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
- 実施結果の配付(個人票) 1学期

【7に関するデータ】 □「子どもたちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」

★ 栄養教諭による食に関する啓発活動(給食だより・昼の放送・食育授業) ◎「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」

給食指導のめあての設定と掲示(食育掲示板)

★ 養護教諭による1・2年生手洗い教室、ブラックライト体験の実施

市衛生協会職員の協力を得て実施。実際の手洗いに生かしている。

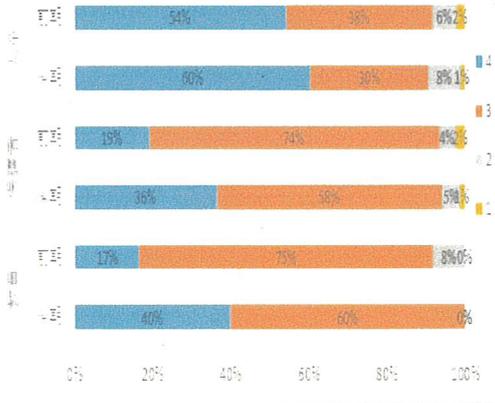
★ 学校保健委員会を保護者の健康に関するお悩み相談の形式で実施

★ PTA研修会「強い体と心を育む 未来を変える食事のみみつ」の実施



栄養教諭と学級担任による食育授業

手洗いの大切さを学んだ手洗い教室



ア 児童の状況

IV 基礎学力																																																	
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント																																														
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	全国学力学習状況調査の結果は良好である。授業を参観して、楽しんで学んでいる授業では、子どもたちの表情が明るく、積極的に発言したり、課題解決に取り組んだりしている場面が見られた。子どもたちが主体的な学びを積み重ねることで自信をつけ、様々な場面で発揮できる力になるはずである。学校全体でさらに授業改善に取り組んでほしい。																																													
	年度	おおむね良好	おおむね良好	県学習状況調査の結果や保護者へのヒアリングから、学校としての学習に関わる取組がよい方向に向いていると感じた。児童の理解力の個人差への対応(指導の工夫・改善)、集団で関わりながら学ぶ過程のよさを実感させる授業の展開等、学校としての課題の解決に向けて、職員一丸となって授業研究、指導方向上に努めてほしい。																																													
学校の評価の改善の概要と	【前期(一年度)】(8について)月別の重点目標をもとに全学級で取り組むことで、学習規律が身に付いてきている。また、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図るとともに、自学ノート展等で、より効果の上がる自主学習の仕方を学んでいる。習慣化は図られているものの、子どもたちの目的意識の向上や学習内容については課題があり、根強い指導が必要である。(9について)朝学習や意図的な繰り返し指導等、基礎的・基本的な学力の向上を図っている。全国学力・学習状況調査の結果を分析し、6年生だけでなく、全学年で日々の授業改善につなげていく。(10について)共感的・協働的に学び合う学習を目指して、「やませっ子学びのスタイル」を推進している。子どもたちの実態はそれぞれの学年で差はあるが、目指すべき子どもの学ぶ姿を共通理解し、全職員が共通実践していくことを心がけ、より主体的・対話的で深い学びとなる授業を目指していく。																																																
	【年度(一次年度)】(8について)学習規律のある落ち着いた環境で、学習を進めることができた。自学花丸週間や自学ノート展等を通して、自主学習の内容や取り組み方を工夫しようとする児童が増えてきている。(9について)朝学習を活用した百マス計算やドリル的な学習はもちろん、授業で確かめ問題を確実に実施することで、児童が基礎的・基本的な学力を身に付けていると捉えている。県学習状況調査の結果を踏まえて更なる授業改善に取り組んでいきたい。(10について)国語科、算数科だけでなく、全教科でやませっ子学びのスタイルの授業を進めることを意識してきた。児童に学び方が浸透し、共感的・協働的な学び合いができてきている。授業研究を今後も充実させていきたい。																																																
		実践課題	主な取組	学校評価B 前期 年度																																													
5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化	4	4																																													
	(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫 ・パワーアップタイムの実施	3	3																																													
	(10) 共感的・協働的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル (つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話合いの場(たけのっ子タイム)の設定と充実	4	4																																													
<p>【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項</p> <p>【8に関するデータ】 ■ □ 「子どもたちに基本的な学習習慣が身に付いている。」 ◎ 「あなたは、授業中、学習の約束をしっかり守って勉強し、家庭学習も毎日続けましたか。」</p> <p>★学習指導部・研究部による計画的な取組</p> <p>○「学習の約束」の徹底 ・「次代を担う田代の子～学習の約束～」と月別重点目標による学習訓練の徹底</p> <p>○家庭学習の習慣化 ・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の活用 ・自学紹介コーナー、ノート展、家庭学習強調週間の実施 ・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定</p> <p>○学習環境の整備 ・「やませっ子学びのスタイル」 ・「話し方・聞き方名人」 ・「声ののさし」</p> <p>※自学ノート展 と学期末PTAの時期に実施した。よい刺激になっている。</p> 																																																	
<p>【9に関するデータ】</p> <p>★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況</p> <p>○ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用 ・ドリル学習・百マス計算・新聞ワークシート ・ミニテスト・百マス計算大会等</p> <p>○各種テスト、ノートチェック、学習アンケートの実施</p> <p>○個に応じた指導の工夫(算数TT)</p> <p>○表現力を高める指導(やませっ子発表会、各種作品コンクールへの応募)</p> <p>○パワーアップタイムの実施</p> <p>令和7年度学習状況調査の結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>算数</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小4</td> <td>82.2</td> <td>82.6</td> <td>82.6</td> <td>88.3</td> </tr> <tr> <td>本校</td> <td>78.3</td> <td>66.1</td> <td>71.5</td> <td>71.5</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>104.9</td> <td>124.9</td> <td>123.4</td> <td>123.4</td> </tr> <tr> <td>県平均比較</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>78.3</td> <td>70.9</td> <td>53.4</td> <td>81.7</td> </tr> <tr> <td>本校</td> <td>76.5</td> <td>68.7</td> <td>61.8</td> <td>65.9</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>102.3</td> <td>103.2</td> <td>86.4</td> <td>123.9</td> </tr> <tr> <td>県平均比較</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>結果を分析し、2月に回復指導を行うこととしています。</p>					学年	国語	社会	算数	理科	小4	82.2	82.6	82.6	88.3	本校	78.3	66.1	71.5	71.5	県平均	104.9	124.9	123.4	123.4	県平均比較					小5	78.3	70.9	53.4	81.7	本校	76.5	68.7	61.8	65.9	県平均	102.3	103.2	86.4	123.9	県平均比較				
学年	国語	社会	算数	理科																																													
小4	82.2	82.6	82.6	88.3																																													
本校	78.3	66.1	71.5	71.5																																													
県平均	104.9	124.9	123.4	123.4																																													
県平均比較																																																	
小5	78.3	70.9	53.4	81.7																																													
本校	76.5	68.7	61.8	65.9																																													
県平均	102.3	103.2	86.4	123.9																																													
県平均比較																																																	
<p>【10に関するデータ】 ■ □ 共感的・協働的に学び合う学習指導が充実している。 ◎ 「あなたは友達の記事を聞きながら、自分の考えを進んで発表することができましたか。」</p> <p>★「共感的・協働的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組</p> <p>○つながる場(たけのっ子タイム:授業での話合い・学び合いの場の設定)</p> <p>※2年生国語学習リーダーの進捗で振り返りを発表し合っています。</p> 																																																	

イ
学校運営
の状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 安全・安心

学校の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	良好	良好	学校教育アンケートを通じて、集団登校等、保護者の様々な思い、願いを学校が把握し、対応できていることはよいことである。学校の取組を充実させることや関係機関との連携を継続することで、今後も子どもたちの安心・安全を確保して欲しい。連絡メール等を通じた正確な情報提供と迅速な対応に努めて欲しい。
	年度	良好	良好	市危機管理課や警察署、市消防本部等と連携した避難訓練・防災教室はよい取組だと感じた。クマ対策としての児童の保護者送迎、緊急メール等での正確な情報発信などよく取り組まれている。今後も、保護者、地域、関係機関と連携した安全確保を継続して欲しい。
学校の評価改善の概要と	<p>【前期(一年度)】(11について)4月に交通安全教室を行い、道路の横断の仕方や自転車の安全な乗り方について具体的に学ぶことができた。自転車の利用について、ヘルメット着用やルールへの遵守は、家庭とも連携して指導してきたい。集団登校については、班長を先頭に安全に登校することができている。登校の仕方心配な声が届いたときは、巡視・見届け等で安全に登校に努めている。(12について)PTA生活環境部の協力により、4月末に危険箇所へ注意喚起の看板を設置し、事故防止を呼び掛けている。スクールガードリーダーも集団下校時に見守っていただいた。(2学期も依頼済)今後も関係機関と連携しながら事故防止に努めていく。</p> <p>【年度(一年度)】(11について)地震・火災を想定した避難訓練を、市危機管理課や警察署、市消防本部等と連携して行った。段ボールベットの組み立てなど、防災教室も行うことができ、児童が体験しながら学ぶよい機会であった。また、冬休み前の生活指導では、交通事故に加え、雪の事故等についても丁寧に指導を行った。(12について)クマ出没が学区内でも増えたため、保護者の協力を得て、車の登下校を行った。保護者が迎えに来るまでは家庭科室を開放し、待機場所を確保した。連絡メール等を通じて、保護者に情報が正しく伝わるよう心がけた。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校下校指導、避難訓練(火災)、煙体験 ・「すこやか通信」の発行・地区児童会	4	4
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等関係機関との連携 ・クマ対応集団登校同行、見守りボランティア、危険箇所看板設置と撤去、街頭指導・メール配信	4	4

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【11に関するデータ】

■ □ 「子どもたちに安全への意識が育っている。」
◎ 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

【取組の具体例】 ★安全意識の高揚

- 通学路の歩き方と危険箇所の確認
 - ・集団登校、下校指導で通学路、歩き方の確認
 - ・安全意識を高める集会での指導(全校集会・冬休み前集会)
- 避難訓練
 - ・地震・火災想定避難訓練 11月5日～防災教室も実施
 - 市危機管理課や警察署、市消防本部との連携
- 生徒指導部だより「すこやか通信」の発行
 - ・集団登校の確認、自転車の乗り方
 - ・夏休みの暮らし方
 - ・冬休みの暮らし方
 - ・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組
- 地区児童会
 - ・危険箇所の確認等



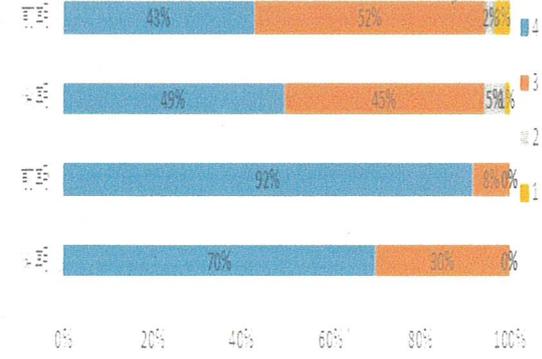

※避難訓練・防災教室
市危機管理課、NTT、市消防本部、大館警察署の協力を得て実施。段ボールベットやパーテーションの組み立ても体験しました。

【12に関するデータ】

★PTAやスクールガードリーダー等の連携

- ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、スクールガードリーダーからの安全指導
- ・生徒指導主事や職員による集団登校現場指導
- ・クマ目撃情報が多発→保護者の車送迎による登下校依頼 10月～2学期終了まで
- ・子ども110番の家の確認
- ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置と撤去
- ・安全に関する緊急メール配信

■ □ 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」



※保護者の迎えまで学校待機
家庭科室を開放(自主学習等)



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携				
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	たけのこ和紙作りは、卒業証書を手にする子どもたちにとって意義深い学習である。職員が入れ替わっても持続可能な学習となるようにして欲しい。おたよりやHP、ブログ等での情報発信が活発に行われており、保護者にとって子どもたちの活躍や様子を知るよい手立てとなっている。今後も取組を充実させて欲しい。
	年度	良好	良好	地域からたくさんの協力を得ながら、ふるさとキャリア教育や様々な教育活動を進められていることは学校としてはありがたいことである。学年通信の発行について保護者の要望もあると思うが、教職員の負担が増えてしまうのではと懸念している。保護者の理解を得ながら、職員の負担軽減も踏まえた対策を考えて欲しい。
学校の改善評価の概要と学	【前期(一年度)】(13について)学年だよりを隔週発行とし、学校から月の主な行事と下校予定時刻の一覧表を配付している。学年だよりでの重要な連絡や持ち物等の連絡については方法や内容について保護者から要望があったため、できるところから改善していく予定である。学校報は、学校行事や活動の様子、子どもたちの活躍を掲載している。HPや学校ブログは随時更新してきている。行事の実施可否や緊急時には、メール配信を行っている。今後もできるだけの情報提供を心がけていく。(14について)保護者や地域の方々の協力を得ながら、たけのこプロジェクトの様々な体験活動を進めることができた。また、クラブ活動では在籍児童である代野番菜等、地域のプロフェッショナルな講師から学ぶ機会を設定しており、子どもたちも楽しみにしている。今年度もより一層ふるさとへの愛着心を醸成できるよう、地域の協力を得ながらふるさとキャリア教育を推進していきたい。			
	【年度(→次年度)】(13について)前期に引き続き、学校報や学級通信、ブログを通じて学校の様子や行事での児童の姿を伝えるよう心がけてきている。11月からはtetoruでの各便りのデータを保護者に配信してきており、タイムリーに内容を確認できると好評を得ている。学年通信の発行については保護者の要望があったため、職員会議で確認し、3学期は改善することとしている。(14について)「たけのこプロジェクト」では、地域の方や保護者の協力を得て充実した活動を行うことができた。プロフェッショナルな外部講師から学ぶクラブ活動や地元の各事業所、施設の見学等、ふるさとキャリア学習を推進することができた。また、番菜クラブは、学習発表会だけでなく田代地区文化祭でも発表することができ、観覧いただいた方たちからたくさんの拍手をいただき、児童たちにとって成就感の大きい活動ができた。反省を生かしながら次年度の計画を見直し、今後も継続していきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便りの発行、HP・ブログの更新 ・行事等におけるメール配信	4	4
	(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	4	4

【13に関するデータ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【取組の具体例】 ■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」

★学校からの情報発信、情報交換等

- 学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPにも掲載
 - ・毎月発行(学校行事や活動の様子、次の月の行事予定等)
 - ・行政協力員との連携による学区内配付
- 学年だよりの配付
 - ・隔週発行(学年の様子や行事予定、連絡等)
- 月の主な行事と下校予定時刻表の配付
- 保健だより・給食だよりの配付
- 行事や緊急連絡等のメール配信
- 学校教育アンケートの実施(web回答開始)
- PTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有
- 教育相談等による情報交換
 - ・年3回の教育相談週間
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
 - ・学級担任による個人面談
 - ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、小・中・保)

【14に関するデータ】 ■ □ 「地域の『ひと・こと・もの』を活用した豊かな教育活動が行われている。」

★「ひと・こと・もの」を生かした体験活動の充実

- ふるさとキャリア教育の推進
 - ・クラブ活動における地元講師の活用、感謝の会
 - ・学校運営協議会での情報交換、地域コーディネーターとの連携
 - ・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援
 - 農園収穫活動(さつまいも、ポップコーン、もち米、なめこ)、5年収穫感謝祭、やませっ子マート(6年直接販売、各学年商品準備)、たけのこ和紙づくり(たけのこ皮煮作業、すり潰し作業、紙すき作業)、プルタブ・アルミ缶回収等
 - ・地元の方からの地域学習への協力
 - 小畑勇二郎記念館、越山小学校、五色湖等
 - *学んだことをもとに一人一人がクイズを作成し、やませっ子図鑑を作成予定

※山田地域づくり協議会の皆様から学んだ6年生なめこ収穫作業



◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えてください、手伝ってくださいする授業や体験活動が楽しいですか。」

